

1月31日に厚生委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● コミュニティ組織等に係る補助金の見直しについて ●

～内容～

小学校区や公民館分館等を単位とするまとまった組織に対して、地域規模に合わせ平等性を確保した上で補助金を一括交付し、地域住民自らによる地域の課題解決等に対し活性化を図ることを目的とする補助金の見直しについて調査した。

～質疑～

問：コミュニティ組織への補助金についての基本的な考え方に対してはいいことだと思うが、清音・山手・総社の間での格差の存在を改めて感じた。新しい補助体制に代わることによって、格差が変わってくるのか。また予算はどのくらいになるのか。
答：今回の見直しによる補助金は、町内会の経常的な経費に対して、人口割、世帯割等で積算して助成するものであり、地域での祭りとかスポーツイベントといった行事については、今までどおりそれぞれの担当課で予算措置を行い対応する。
問：新しい補助制度は、今後移行期間があって26年度から各地区のコミュニティ協議会へ補助するということか。
答：組織作りができていない地区へは25年度から補助できるが、組織作りができていない地区への補助は経過措置を設けるなどして対応したい。
問：まず、組織を全地区に作らなければ公平さを欠くのではないか。
答：組地区ごとに状況が違うのでなかなか1つにまとまらないところもあると思うが、そういった地区に対して補助しないということは難しい。組織作りを行っていただくよう努力を続けたい。
問：現状のまちづくり活性化事業（一律5万円補助）の執行率はどれくらいか。
答：6割から7割の執行率となっている。
問：盛り上がっている地域を見て、「じゃあ自分たちの地域も」と盛り上がりができる。地域からわき出てきた盛り上がりがコミュニティであり、行政の方から指示されて行うのはあまりコミュニティとはいわないのではないか。補助の程度は考える必要があるが、公平さよりも盛り上がりの度合いを考慮してはどうか。
答：もちろん、まとまって進んで行く地区には25年度以降は新しい補助制度で行っていただく。現在、清音清流祭りが清音地区で行われており、補助している。このようなイベントが各地域で行われるようになった場合、財政的にも困るが、行わないようにすることもできない。また、清音には補助するが他の祭りには補助しないということもできない。今後の検討課題になると思う。

● 総社市新生活交通「雪舟くん」の見直しについて ●

～内容～

平成 23 年度から実施している新生活交通「雪舟くん」の見直しについて調査した。

～質疑～

問：共通エリアを備中国分寺の県の駐車場、もてなしの館まで拡大できないか。れんげ祭りや国分寺へ写生に来られる方など利用者がいるのではないか。また、吉備路郷土館が今後改修されれば利用者も増えるのではないか。

答：今までの利用状況から、市民は国分寺周辺への利用はほとんどないので共通エリアへは入れていない。れんげ祭り等は土日が多く、雪舟くんは運行していない。また、新しい施設ができればその時点で考えたい。

問：市長は、利用者・事業者・市の3者みんなが良くなるような制度にと言うが、そのような制度にはなっていない。雪舟くん運行前に比べて、事業者が厳しい状況になったというが、どれくらい厳しい状況になっているか把握しているのか。

答：10月までの実績で前年の10%程度、金額にして約2,300万円減収になる。

問：市民が乗っていないバス路線については、他の自治体と協議をしていくと言っていたが、今協議はどの程度まで進んでいるのか。

答：吉備中央町へは協議しているが、吉備中央町は田土線が廃止されると困るということで色々話し合いをしている段階である。倉敷中央病院線は、今回山手地区を共通エリアに含めたため、以前より300円安く行けることになる。また、雪舟くんが他の市町村内を運行することになれば、他市の公共交通会議へ諮らなければならないので、他市町村のタクシー業者等との関係もあり困難な課題だと思う。

問：運転免許証の返納者へ利用券を配布するとのことだが、どれくらいを考えているのか。

答：30枚程度を1回限り交付する。

問：雪舟くんに乗車すると、額面50円のタクシー券を配布するとのことだが、乗車する度に配布するのか。また、年間予算はどれくらいになるのか。

答：1乗車50円、往復すると100円になる。1日250人乗車を目標にしており、年間運行日数が250日として、約312万5千円となる。

問：今回の見直しは、アンケート調査をした結果を反映させているのか。

答：12月末にアンケート調査を行い、その結果を反映させている。

問：共通エリアが拡大されているが、常盤地区の高梁川沿いが1部分除かれている。高梁川沿いまで含めてはどうか。できない特別な理由があるのか。特別な理由がないのであれば、含めるべきではないか。

答：実際にその部分の利用者が少ないため含めていない。今回は利用の多い箇所を選んで共通エリアを拡大している。

問：常盤地区の高梁川沿いの区域には、やすらぎの家があり、利用者にとって

は共通エリアに含められる方が便利なのではないか。

答：橋もできることだから、共通エリアに含めます。

～自由討議～

■ タクシー会社の売上げの落ち込みについて

- 雪舟くんの運転をしていないタクシー運転手の売上げの落ち込みについて、当局の説明と運転手から聞く話とではかけ離れている。本委員会で一度運転手との話合いの場を設けてはどうか。
- 運転手から話を聞いても、議員からタクシー会社へ指示できることではないが、話を聞く機会は設けてもいいのでは。
- タクシー運転手の売上げの落ち込みの要因が、雪舟くんによるものか、経済全体の落ち込みによるものか比較ができない。
- 社員である運転手が、会社の社長等と話した結果を市長に折衝に来られているのだから、委員会として個人のタクシー運転手から話を聞く必要はないのでは。
- タクシー会社の減収分 2,300 万円の根拠（内訳）を知りたい。
- バス会社は、バスが廃止になって収入がゼロになったわけであり、タクシー会社よりダメージは大きいと思う。タクシー運転手からだけの意見に行くのは不公平ではないか。

⇒ 結論 委員会が、個々の運転手の減給について意見聴取することは馴染まない。

■ 様々な見直しについて

- バス路線への助成金をいかに削減できるか。
- 雪舟くんにシルバーカーを持って乗れるように改善されるようだが、これでいきいきチケットの対象にならない人の救済措置は十分なのか。
- シルバーカーを持って雪舟くんを利用する場合、行くときは乗れるが、買い物をした帰りはシルバーカーが折りたためないで乗れないのではないか。
- 共通エリアへ吉備路郷土館を入れるべきではないか。
- 吉備路郷土館を共通エリアへ入れることについては郷土館が完成した時点で考えてもいいのでは。
- 新生活交通条例の議決の際に、議会からの意見とし、1年経過した時点で状況の見直しを行うよう修正して議決した経緯があるが、さらに改善して行くために、1年間の限定ではなくて、今後も毎年見直しを行う必要があるのではないか。

⇒ 結論 現在は、附則の部分で「条例施行後1年を限度として見直しをする」としているが、条例の本則の中で、「今後必要に応じて毎年度見直しを行う」よう条例の一部改正を行うよう議会から議案を提出する。

～再質疑～

問：雪舟くん1台に2人程度に限定してシルバーカーを持って乗れるように改善されるようだが、これでいきいきチケットの対象にならない

<p>人の救済措置は十分なのか。他の救済措置は考えているのか。</p>
<p>答：雪舟くんに乗れない人は、介護認定を受ければほとんどの人がいきいきチケットの対象になると想定される。グレーゾーンの方は少ないと見込んでおり、今回の救済措置で補えると考えている。</p>
<p>問：現在残っている4路線のバスの運行について、今後各自治体との動向を踏まえて、対応を検討していただきたい。また、今後、雪舟くんの運行をより良いものにしていくために1年ごとに見直しを行うよう認識していただきたい。</p>
<p>答：バスの運行については、他の自治体やバス会社と十分協議して、変更できることは前向きに進めていきたい。見直しについても1年ごとに行い、いろんな変化に柔軟に対応したい。</p>
<p>問：タクシー運転手の収入の減について、どのように認識しているのか。</p>
<p>答：運転手個々によって色々あることは聞いている。タクシー業者と十分協議しながら、共存共栄で、市が補填するのではなくて、タクシー会社の方でも考えていただくよう申出ていこうと思っている。</p>
<p>問：シルバーカーのお客の予約が2名入っていたら、3人目の予約が入ったときオペレーターは断れるのか。</p>
<p>答：2名程度ということにさせていただきたい。</p>
<p>問：シルバーカーは行くときは折り畳んで乗れるが、買い物をして折り畳めない状態になったときはどうするのか。</p>
<p>答：帰りはタクシーを利用していただきたい。</p>

● 国民健康保険特別会計の状況について ●

～内容～

国民健康保険特別会計の現状について調査した。

～質疑～

<p>問：総社市は1人当たりの医療費が県下で一番少ないが、理由をどう分析しているのか。</p>
<p>答：正確な分析はできていないが、近隣市に大きな病院があるにも関わらず、低く抑えられているということは、市内での、かかりつけ医の意識が浸透しているのではないかと思う。また、介護予防、健康教室がうまくいっているのではないかと考えている。</p>
<p>問：総社市の医療費が少ない理由が、栄養改善が徹底しているとかやウォーキングなどの健康づくりに取り組んでいるとか関係しているならば、そういったことを市民にPRして、どんどん伸ばしていくことが必要ではないか。</p>
<p>答：いいことは伸ばしていくようにしていきたい。</p>

● 平成 24 年度新規政策・事業等概要について ●

～内容～

本委員会が所管する事業平成 24 年度の新規政策・事業等の概要について、当局が財政部局への要望の段階で説明を受け、調査を行った。

障がい者千人雇用事業

子育て王国のまちづくり事業

子育て王国そうじゃ基金活用事業

～質疑～

問：24 年度には子ども議会の開催を計画しているようだが、前回の子ども議会の傍聴者は何人だったのか。

答：15 名で、内訳は学校関係者、保護者、一般の方などである。

問：他県では小学生が子ども議会を行っているところもある。実施時期が夏休み中であれば、教育委員会と連携し、小学生に傍聴に来てもらってはどうか。

答：子どもたちに呼びかけていきたい。

● 現在計画期間中のもので、法律により策定が義務づけられた行政計画及び法律に策定することができるように規定され、それに基づき策定された行政計画について ●

～内容～

現在計画期間中のもので、法律により策定が義務付けられた行政計画及び法律に策定することができるように規定され、それに基づき策定された行政計画のうち、本委員会の所管する下記の 13 計画について、策定の根拠法令、計画期間、計画の概要などの説明を受け、議決事件に追加する計画として議会運営委員会に報告するものがあるかどうかを調査した。

その結果、本委員会としては、議決事件として追加する計画はない旨、議会運営委員会へ報告することを決定した。

総社市男女共同参画プラン

総社市環境基本計画

総社市役所地球温暖化対策実行計画

総社市一般廃棄物処理基本計画

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づく市町村分別収集計画

総社市障がい者計画

第 3 期総社市障がい福祉計画

総社市次世代育成支援行動計画（後期計画）子育て王国そうじゃ総社っ子プラン
総社市こども食育推進計画
第5期総社市介護保険事業計画
総社市高齢者福祉計画
健康総社21
総社市国民健康保険特定健康診査等実施計画

～質疑～

なし

～自由討議～

- 総社市男女共同参画プラン，総社市環境基本計画，総社市役所地球温暖化対策実行計画を議決事件に加えてはどうか。
- 委員会としての意見が反映される機会を得られるならば，議決事件に加える必要はないのではないか。
- 委員会としての意見は，所管事務調査を行うことによって可能である。

⇒ 結論 計画策定に当たって、委員会としての意見を入れていただくということを申し添えることとし、議決事件に追加する計画はない。